

令和7年1月18日に北区民センターで開催された、社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会主催の「体験型ふくし防災フェスタ」に出展しました。今回は、2023年10月に北区発行の広報誌で防災教育出前講座の活動を紹介頂いた際に、その記事を見られた一般社団法人ADI災害研究所様よりご依頼頂き出展する運びとなりました！

今回私たちは、「ジオラマ（模型）の水害シミュレーション」として、水害再現ジオラマ模型を用いた都市型水害の再現と、フリップを用いた水害の種類や危険性、「流域治水」の考え方やその必要性についての説明を行いました。

多くのブースがある中、お子様から大人の方まで延べ50名以上の方に当社ブースを訪問頂きました！（ありがとうございました！）皆様、河川氾濫や津波で家やミニカーが流される様子などを真剣に見ておられました。

講座終了後に行ったアンケートでは、「テレビで見るとどうしても実感がなく遠いところで起きている感じでしたが、模型はとてもわかりやすく、小学生の子どもも驚いていた。」「危機管理の大切さを知った。日々防災意識を持って行動したい。」「説明がわかりやすかった。動画や写真だとリアルすぎて恐ろしいけど、模型なら溶け込みやすかった。危機意識をもって生活していこうと思った。」などの感想を頂きました。

短い時間ではありましたが、水害に対する理解や防災意識の向上に微力ながら貢献できたと感じ、とても嬉しく思います。また、当日は沢山の方と交流させて頂き、私たちとしても非常に有意義な時間を過ごす事ができました！ありがとうございました！

一人でも多くの方の防災意識を高められるよう、令和7年度も精力的に活動します！



ブースの様子



ジオラマ模型を用いた水害再現の様子



ジオラマ模型を用いた水害再現の様子



フリップを用いた説明の様子

←北消防署のめいちゃんもブースに来てくれました！